

第5回精度管理セミナー「コスモス」終了報告！
平成26年11月15日(土) - 16日(日) 札幌医科大学

第5回精度管理セミナー「コスモス」は、会員・賛助会員合わせて25名の参加と盛況のうちに終了いたしました。ご参加いただきました皆様方に、改めてお礼申し上げます。

一日目は、4つの講演を行いました。まず、QMS (Quality Management System) について、ロシユ・ダイアグノスティックス社の赤松康宏先生にお話しいただきました。臨床検査の品質管理の導入は特別なことではなく、すべての施設において必要なこと、また、自施設の検査精度を対外的に確保できる体制づくりの重要性について、改めて感じさせられる内容でした。次に、九州地区における精度管理調査事業の取り組みについて、福岡大学筑紫病院の篠原克幸

技師にご講演いただきました。近年では、凍結乾燥品の精度管理試料が主流をなしていましたが、試料マトリックスの影響により、項目によっては測定法別の値が大きく分離し、正確な評価が難しい状況にありました。一方、九州地区では、古くからその影響が少ないプル血清を用いた精度管理試料を独自で作製し精度管理に利用しており、現在では、日臨技でもその手法が応用されています。今後北臨技でも独自の試料作製を視野に入れていたため、参考となる内容でした。3講目は、日臨技精度保証施設認証制度について、日臨技の岩上みゆき執行理事にお話しいただきました。日臨技では、臨床検査室の品質保証を認証化し、さらには保険点数化を目指しています。厚労省への働きかけには認証施設数100施設が一つの目安とされています。しかし、現在、その認証施設数は全国で583施設、北海道においては24施設に限られております。認証基準を満たしているが申請されていない施設も多数ありますので、改めてご検討いただきたいと思います。4講目は、日臨技の横地常広専務理事から、来年4月より技師法改正に伴い業務内容に加わる「検体採取」、さらには「嗅覚検査」及び「味覚

検査」を中心に、法改正の経緯、厚労省指定講習会カリキュラムの骨子などのお話しをいただきました。これら、検体採取等を実施するには厚労省指定講習会を受講することが義務付けられており、受講なしに業務を行った場合は法律違反として罰せられる可能性があります。北海道では、平成28年1月までに4回の指定講習会開催が予定されております。日程については、今後調整されますが、既に日臨技HPに案内が掲載されていますので、確認いただきたいと思います(※)。

また、二日目は、北臨技精度管理事業の報告と、地区担当者を交えた討論会を行いました。日臨技精度保証施設認証制度の認証状況や評価の外れた施設への対応など、地区からの調査や働きかけについて、既に取り組まれている活動や今後の課題など、様々なご意見をいただくことができました。精度管理セミナー「コスモス」は来年以降も継続していきます。北臨技としての精度管理事業の発展に、会員の皆様をはじめ賛助会員の皆様方には、今度も、ご支援ご協力よろしくお願ひしたいと思います。(研修部長 品川雅明)



一般社団法人 北海道臨床衛生検査技師会
北臨技 NEWS No.270 25.Nov.2014
TEL:011-786-7071/FAX:011-786-7073
http://www.hokuringi.or.jp

※検体採取等に関する道内の第1回指定講習会を3月に札幌で開催する予定です。今回同封の北臨技発第57号文書に概要を記載しておりますので、ご覧ください。

【医療安全研修会終了報告】
平成26年9月27日(土)、第89回北海道医学検査学会での開催で、参加総数は110名でした。3回目となる今回の研修会はパネルディスカッション形式で実施しました。藤澤常務理事の司会で、北海道大学病院 山本雅史技師に「採血における医療安全～神経損傷に遭遇しないために～」、手稲溪仁会病院 三浦邦彦技師に「輸血と医療安全」、砂川市立病院 渋谷雅之技師に「当院生理検査室における医療安全の心得と具体的事例」の3題の発表を行っていただきました。山本技師には、神経損傷の危険がある神経部位を手術の動画を用いインパクトのある内容、三浦技師には、統計資料より院内インシデントの分析を用い丁寧な解説、渋谷技師には、患者との距離が近い部門のインシデント対応を経験を基に発表していただきました。パネルディスカッションの設定でしたが、ディスカッションの時間が足りなかった点が惜しまれます。来年度は、今回の反省点を踏まえ充実した企画をしたいと思っています。(常務理事 星 直樹)

第15回北臨技基礎セミナー「生理検査のすゝめ in 旭川」終了報告
平成26年10月18日(土)に生理機能部門基礎セミナーを北海道医学技術専門学校で開催しました。昨年度までに開催した「心電図・エコー検査の基礎」に続く第2弾ということで、道北地区だけではなく、道内各地区から総勢44名の参加となりました。山本雅史技師の「呼吸機能検査の基礎と精度管理」についての講演は、今まで呼吸機能検査の講演を聴いた事がなかった方や精度管理の方法に疑問を感じていた方にとってためになる内容で、受講者アンケートでもとても反響のあった講演内容でした。この他、心電図ミニレクチャーとして電解質と活動電位の講演を齋藤和が、「心エコーの基礎と臨床」について石川嗣峰技師が講演し、どちらも基礎をしっかり見直すことができる内容でした。今後も会員皆様の要望にお応えする形で内容を変えて企画し、各地区で基礎セミナーを開催いたしますので、是非注目していただきたいと思います。(生理機能部門長 齋藤 和)

◇会員名簿の訂正◇
P.6 役員候補者選出委員 小樽地区 坂上延雄委員施設住所
北海道済生会小樽病院 誤：小樽市梅ヶ枝 8-18
正：小樽市築港 10-1

～技師会費引落し口座について～
毎年2月末頃に次年度会費が引落しになりますが、口座残高不足のために会費未納となるケースがありますので、残高にご注意ください。登録口座は日臨技 HP 会員専用ページで確認できます。